

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援Tendresse			
○保護者評価実施期間	令和6年9月12日 ～ 令和6年9月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和6年9月2日 ～ 令和6年9月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職(保育士・言語聴覚士)による手厚く専門的な支援	基本人員に加えて2～3名職員を配置し、手厚くきめ細かな支援の提供に努めています。また、支援に関わる職員は管理者を含めて全員が専門職(保育士・言語聴覚士)で構成することで、専門的な支援の提供に努めています。	他の専門職(作業療法士、理学療法士、心理職等)から専門的なアドバイスが受けられるような環境づくりを図ってまいります。
2	3時間以上にわたる充実した総合的な支援の提供	児童発達支援に特化することで、午後から未就学児のみで長時間にわたる支援の提供に努めています。集団プログラムでは他者との関わりを含めた活動、個別プログラムでは個々の発達に合わせた活動、個別活動(自由遊び)の時間には専門的支援の実施、また1日を通してSST・ADL・IADL向上を意識した支援を行っています。	職員の支援技術の向上に努めることで、提供するプログラムの質の向上へと繋げてまいります。また、支援プログラムが目的とずれていないか検証しながら、子ども達にとって適切なプログラムの設定に努めてまいります。
3	保護者同士のつながりを築くサポート	保護者交流会を開催することを主な目的として、月1回土曜イベントを開催しています。悩みを共感しあえる仲間を得ることは生涯の宝と考え、保護者同士の友好関係を築くサポートに努めています。	保護者がリラックスして話しやすい環境設定の工夫に努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の外部研修等の参加困難	午後から長時間にわたる支援提供時間を確保するために、利用児不在時間が午前中に2時間(休憩除く)しかないため、外部研修等の参加が難しい状況です。	外部講師を呼ぶなどして、弊所が可能な時間帯に研修を行うなど検討してまいります。(事業所内研修は引き続き、月1回以上の開催を継続していく。)
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 Tendresse

公表日 令和6年10月30日

利用児童数 23名

回収数 15名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1			光がよく入った広いワンフロアで十分なスペースが確保されていると思います。	指導訓練室は子ども達が伸び伸びと活動ができるように、定められた設備基準33㎡に対して54.9㎡と広く確保させていたいております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15					
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				半年間の目標設定に沿った内容も、こちら側がお願いしたその都度対応してほしき取り組みも行って頂いている。	今後も引き続き、お子様に合わせた専門性のある支援をご提供できるように努めさせていただきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				大変よく現状を把握していただいて、具体的に適切な計画を作成していただいています。	今後も引き続き、ニーズや課題の把握と分析に努めさせていただきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				利用日にフィードバックがあるのでその際には沿った内容を行って頂いているなと感じております。	今後も引き続き、職員内で共通理解を深めることで個別支援計画に沿った支援を行えるように努めさせていただきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1			季節に応じたイベントや遠足など子どもが安全に楽しめる取り組みをして頂いてると感じます。期間を区切って内容が変わり、また指導方法も子供の特性や習熟度に合わせて対応していただいています。同じプログラムが続いている気がする。	滴遍なく身体の発達を促せるようにサーキット運動は毎週遊具を変更しております。また、個別プログラムは子ども達が飽きることなく楽しみながら取り組めるように、且つスキルの定着を促せるように、毎週1プログラムを変更するようにしてご提供させていただいております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	2	3	幼稚園の先生（担任）に、子どもの園での様子をお電話でお尋ねしてくださっているのは、その活動に入るのでしょうか。保育所等訪問支援など園と情報共有できる形があれば嬉しいです。	全員が就園先で他の子ども達と交流する機会があるため、事業所内での支援を優先し、現在保育所等との交流や、その他地域で他の子ども達と活動する機会は設けておりません。今後、ニーズがあれば検討させていただきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14			1	利用開始前にも十分な説明をいただきましたが、変更があれば都度丁寧なお話をいただいています。	今後も引き続き、丁寧に説明させていただくように努めさせていただきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				専用の時間を設け、説明をいただいています。	今後も引き続き、支援計画の評価及び変更目的等がご理解しやすいようにご説明することに努めさせていただきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15				ペアトレを参加させていただいて学ぶことが沢山ありとても助かっています。	今後も引き続き、保護者様に有益な情報提供等ができるように努めさせていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1			迎えの際に毎回十分なフィードバックをいただいています。保護者からの情報提供も受けていただいています。一昨年や昨年よりは、先生間でも、先生と保護者間でも共有がスムーズになったと思います。	支援提供終了後は保護者様に事業所にお迎えにお越しいただき、直接口頭にてフィードバックを行うスタイルを取らせていただくことで、今後も引き続きお子様の共通理解に努めさせていただきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				全ての先生が子供と保護者に寄り添った温かい対応をさせていただいています。都度、対応してもらっています。	今後も引き続き、共感的に支援をされていると感じいただけるように精進いたします。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14			1		保護者交流会を開催することを主な目的として、月1回土曜イベントを開催させていただいております。また、夏祭りイベント、クリスマスイベントはきょうだいにちもご参加いただいております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			3	とてもスムーズに対応して頂いております。	保護者様が気軽に相談できる場となれることを目的として支援提供後は保護者様に事業所にお迎えにお越しいただいておりますので、今後も気軽に相談いただけますと幸いです。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	2		2	遠足やイベントではなく、日頃の取り組み風景の写真が最近減ったのが少し寂しいです。	SNS等による活動内容の発信頻度が少なくなってしまうので、もう少し頻度を上げて発信できるように努めさせていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			1		避難訓練は年間4回(火災2回、地震1回、不審者1回)開催しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15				大きな事故や怪我が生じたことはありませんが、ほんの小さな怪我でも報告をいただいております。	今後も引き続き、事故等が発生しないように最善の注意を払ったうえで、万が一発生した場合は都度ご報告いたします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15				不安なく通っています。先生方と接する様子を見ても信頼しているのが伝わってきます。	今後も引き続き、お子様との愛着関係をしっかりと築くことで安心感を抱いていたけるように努めさせていただきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1				全てのお子様に通所を楽しみにしていただけることを目標に精進いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				とても満足しております。先生方には日々感謝しかありません。支援の内容も先生方のお人柄、対応も全ての面で満足しています。支援内容は凄く満足しているのですが…欲を言えば専用駐車場を用意して頂けたら凄く助かります！	皆様からの嬉しいご意見を励みにして、今後も引き続き支援にご満足いただけるように尽力させていただきます。駐車場に関しましては、お迎え時はお子様様の出入りが多く、事業所敷地内へ車両の出入りをお控えいただいている関係で、保護者の皆さまにはご不便をおかけしており大変申し訳ありません。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和6年10月30日				
児童発達支援Tendresse						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指導訓練室は子どもが伸び伸びと活動できるように定められた設備基準33㎡に対して54.9㎡と広く確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基本人員に加えて2～3名職員を配置し、発達支援に関わる職員は管理者を含めて全員が専門職(保育士・言語聴覚士)で構成することで、手厚くきめ細かな専門的な支援の提供に努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動の見通しが立てられるように、ホワイトボードに1日の流れやプログラム内容の絵カードを掲示する等、視覚支援を実施しています。また、なるべく掲示物などを減らし、視覚刺激を少なくする等の配慮をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子ども達の活動が妨げられることなく伸び伸びと活動できるように、また清掃が行き届きやすいようにと配慮して家具等を配置しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンが必要な子のためのスペースを用意し、状況に応じて活用しています。また、静かな環境で専門的支援の実施が必要な場合は、事務室や相談室などの個室を活用して提供しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所の門戸設置や、言語聴覚士の雇用など、保護者からの評価表の意向を踏まえて業務改善を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		週1回定期的にミーティングを行い、職員間で意見等の把握に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後において、外部評価の実施を検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回以上のスキルアップ研修により、職員の支援技術の向上に努めています。また、堺市障害児通所支援事業者育成事業の利用もさせていただいています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和6年9月1日に作成し、保護者に配布済です。	今後、弊社ホームページにて公表する予定です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		支援終了後は保護者にお迎えに来ていただいているので、都度、保護者からのニーズの把握に努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全員でアセスメントを行い、会議でそれぞれの見解を出し合い、子どもにとっての最善を熟考し、必要な目標を検討したうえで、個別支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルなアセスメントは乳幼児発達スケールを使用しています。また、外部で受けられた発達検査の結果も随時確認させていただき、支援内容等に反映させていただいております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎週チーム会議を開催し、活動プログラムの立案を行っています。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		満遍なく身体を発達させるようにサーキット運動は毎週遊具を変更しています。また、個別プログラムは子ども達が飽きずに取り組めるように、目ツスキルの定着を促せるように、毎週1プログラムずつ変更しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了時間と職員の退勤時間が同時刻であるため、当日ではなく翌日に振り返り等を行って共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と支援員の2名体制で参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		スーパーバイズや助言を受けたいと考えているため、連携を図っていききたいと考えています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現状は利用児の通園先との連携のみに留まっているため、今後において弊所に出来る活動を模索していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援提供終了後は保護者に事業所にお迎えにお越しいただき、直接口頭でフィードバック等を行うことで、お客様の共通理解に努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今年度、外部講師をお呼びして全4回のペアレントトレーニングを開催しました。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者交流会を開催することを主な目的として、月1回土曜イベントを開催しています。また、夏祭りイベントやクリスマスイベントには、きょうだいにもご参加いただいています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		事業所単独での行事は開催していないが、他事業所主催の行事に運営メンバーとして参画することで、地域に開かれた事業運営を図ることに努めています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		利用児との避難訓練は年間4回(火災2回、地震1回、不審者1回)開催しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		年齢的に全員が予測できない突発的な行動を起こす可能性があるため、個別支援計画に行動を抑止する旨を記載し、保護者にご説明し、同意いただいています。過去に身体拘束を行った事例はありません。	